

サーバ (kinkoh/kiriko) からの印刷の方法

総合情報処理センターの端末室には Adobe Postscript 3 対応のモノクロレーザープリンタ (OKI MICROLINE 703N3E または OKI MICROLINE 701N3) が設置されています。PC 端末のほか、研究利用フロントエンドサーバ (kinkoh)、教育利用サーバ (kiriko) からの印刷が可能です。設置場所とプリンタ名は以下の通りとなっています。

| 端末室 | プリンタ名 |
|-------------|--------|
| 第 1 端末室 | tan1lp |
| 第 2 端末室 | tan2lp |
| 第 1 オープン端末室 | res1lp |
| 第 2 オープン端末室 | res2lp |
| 第 1 システム開発室 | dvdlp |

端末室に設置の PC 端末から印刷する場合は、標準のプリンタが各端末室に設置のプリンタとなっていますので、プリンタを選択する必要ありません。アプリケーションの印刷コマンドを使用すれば、各端末室のプリンタに出力されます。

サーバからの印刷

研究利用フロントエンドサーバ (kinkoh)、教育利用サーバ (kiriko) から印刷する場合は、lp コマンドを利用します。

lp -d プリンタ名 印刷ファイル

プリンタ名 出力したいプリンタ名を指定します。

印刷ファイル 出力したいテキストファイル、またはポストスクリプトファイルを指定します。テキストファイル、ポストスクリプトファイル以外の形式のファイルはポストスクリプト形式に変換して印刷して下さい。

印刷を実行すると、以下のようにリクエスト ID が表示されます。

```
request id is res1lp-121
```

標準出力を印刷する場合は、リダイレクトを使い、

`command | lp -d プリンタ名`

として印刷します。

プリンタ状況の確認

プリンタにどの程度印刷ジョブがたまっているかは `lpstat` コマンドで確認できます。

`lpstat -o プリンタ名`

プリンタ名 確認したいプリンタ名を指定します。

印刷の取り消し

`lp` コマンドで印刷を実行した後、実際に印刷が開始されるまでの間であれば印刷を取り消すことができます。

`cancel リクエスト ID`

リクエスト ID `lp` コマンドを実行したときに返される文字列 (`res1lp-121` など) を指定します。`lpstat` コマンドで確認することもできます。

by 総合情報処理センター